

広報



緑の郷

令和7年

2月号

No.377 (毎月 1日発行)

発行：特別養護老人ホーム 緑の郷 横浜市青葉区鉄町 2075-3 編集：広報委員会



書き初めにチャレンジ!



お年賀状も届きました



華やかなおせち



お屠蘇き一杯酌まれて



おかめさんはどんな顔?



緑の郷ホームページでも 行事の様子をご紹介します。

緑の郷ホームページ MENU → 思い出の一ページ

2025 新年祝賀会



2025年1月1日 新年祝賀会が開催されました。

職員から新年のあいさつをさせていただいた後にお屠蘇やジュースで乾杯。そして、お祝い膳で新年をお祝いしました。

朝から晴天で温かい日差しの中、気持ちの良い祝賀会となりました。



みなさまの**幸せに**
乾杯!!



今年のおせちです。
味もよく、目でも楽しめました。
栄養課のみなさまに感謝です。



みなさまの笑顔をたくさん見ることのできるよう、職員一同 がんばってまいります。

忘年会

ちょっぴり豪華版
のお食事でした

緑の郷版紅白歌合戦
チャイナドレスの
スタッフとデュエット



「タコ焼きルーレット」
ワサビたっぷりのタコ焼きを
食べた職員は誰でしょう？



職員出し物の練習風景～



2024年12月

獅子舞



獅子舞とお囃子が
来ました！



新春福笑い

美人のお福さんや
面白いお福さんが
沢山出来ました。

2025年1月



★利用者さまとご家族には、今後ご利用前（お迎え時）の検温・マスク着用のお
願いと一部活動の自粛について、引き続きご協力とご理解をいただいております。



わらづと きょうぎ
藁苞 経木は何処へ

1月9日の回収日、家内からゴミ出しを命じられて山と積まれたゴミ袋に呆然。我が少人数世帯でも年末の回収日以降10日間のプラゴミは30ℓ袋7包にもなり、量の多さに驚く以上にプラへの依存度を目の当たりにした次第。今は何でもプラ容器なんだな・・・と◆昨夏の花火大会の翌朝、海岸のゴミ拾い行事に参加。大きなゴミは大会終了直後に出勤した資源回収組合の皆さんが同夜のうちに回収済みで少々拍子抜けの感があったが、波打ち際の光景は衝撃的だった。マイクロプラ及びその予備軍の小片が白い波紋を描いている。前夜の名残というより、日々沖合から漂着する海洋ゴミの仕業。これをカメが食い、魚も食い、その魚を人間が食べて体内に取り込まれる。一説には人間が1週間に摂取するマイクロプラの量は5g(クレカ1枚分)とのこと。そのため生殖機能も低下、既に精液からプラの成分が検出されているという◆ふと昭和30年代の包装文化を思い出した。納豆は稲藁を編んだ〈藁苞〉に、おにぎり△は松の木を紙状に薄く削いだ〈経木〉に包まれていた。カレントウは店員さんが小さいスコップで紙袋に入れて量り売り。藁も木も紙も風呂の焚口で燃やされ灰として自然に還せた。豆腐に至っては鍋をさげて店へと走りオヤジさんに水の中に浮かべてもらいソロソロ帰ったものだが、両手で鍋を持ったまま転んだ時は悲惨だった◆藁苞や経木は現存しているものの包装資材全体の1%にも満たないはず。プラ主流となった包装文化を今更70年前に戻すことはできないが、さすれば時代の最先端を自得する研究者諸氏に優秀な頭脳を発揮してもらい、核のゴミを始めとして〈環境に優しいゴミ処理〉という重要課題に挑んでほしいものだ・・・と我が家のプラゴミを運びつつ思ったものだ◆今回は何とも歯切れの悪いアナタマカセの結論でした。

【理事長 田中 實】



私の楽しみ.com

ドットコム

Chapter3 はまったのは・・・❤️

小林恵美 看護課 係長



友人の紹介ではまったのは・・・【シャドーボックス】

シャドーボックスは、17世紀のイタリア貴族の間で広まりました。紙の絵をパーツごとに切り貼りし、重ねていくことで立体的に見せる作品です。地味な作業ではありますが、切り方、のし方、重ね方、さらにアクセサリーを付けることで、原形の平面の絵が本物さながら飛び出してくるような迫力があります。そして最後の仕上げはフランス額装。ガキはその作品に合わせて設計図から作ります。額次第で雰囲気が変わり、個性あふれる独創的な豪華な作品となります。気に入ったカードや旅先で購入したお菓子箱のイラストなどを作品にすれば素敵な思い出を残すこととなるでしょう。シャドーボックスを見る機会があればその細かさやアイデアに驚くことでしょう。今はキットが売っているので、ぜひ挑戦してその魅力を体験してみてください。



緑の郷ご案内

住所: 〒225-0025 横浜市青葉区鉄町 2075-3
 電話: 045-903-8500



ホームページ



RYOKUSEIKAIMIDORI

編集後記

はじめまして！デイサービスセンターの田村と申します。
 こちらに勤め始めたのが昨年の7月始め、毎日生き生き楽しく過ごしあっという間に半年が経ちました。
 実は私前職では1日中椅子に座りっぱなしでパソコンと睨めっこの毎日でした。肩こりや冷え性からの脚のたるさに耐えながら「しょうがないもの」だと生活していましたが、ここ何ヶ月かは体がとても軽いのです。学生の頃以来でしょうか！（決して大袈裟ではないのです）座りっぱなしの生活から脱却し、皆さんと楽しくお話ししながら日々を過ごせているお陰で、こんなにも自分の体に変化があるとは思っていませんでした。
 新しいことに挑戦するという事はとても勇気がいることですが、得られるものはとても大きいと改めて感じ、これからも様々なことに挑戦していきたいと思っています。

デイサービス 田村 亜佐美

